

弥富市高校生議会 10月19日(土) 弥富市議会議場

選挙権の年齢が満18歳以上となったことを受け、高校生に政治や地方行政への関心を高めてもらうため生涯学習講座の一環として高校生による模擬議会を実施しました。

事前に議会の役割と進め方、本市の現状の説明を受けた高校生議員は、まちづくり委員会、防災委員会、観光委員会の3委員会に分かれて「弥富市をいつまでも住み続けたいまちにするためにはどうしたらよいか？」をテーマに討議を行い、意見書案を作成しました。

高校生議会当日は、議場にて各委員会から提案された意見書案を採択し、小鹿議長より安藤市長に意見書が手渡されました。



高校生が提案した意見書を紹介します



防災委員会

弥富市は高齢化が進んでいて、災害時には高齢者が被災者になりやすいので避難の手助けが行いやすい共助の充実を図るために、市として出前講座の実施や近所付き合いを深めるための施策を進めてほしい。

観光委員会

弥富市は観光施設が少なく、イベントも周知されていない。さらに、市としての発信力も弱い。そこで市として、お祭りや花火などのイベントや道の駅などの観光施設を充実させ、個人のツイッターなどで発信しやすい環境を市全体で整備してほしい。



まちづくり委員会

- ① JR・名鉄・近鉄弥富駅周辺の道路は、車や自転車、歩行者がたくさん通行しており、ぶつかりそうな場面を何度か目撃したことがあるので、時間帯で自転車だけが通れるようにすることや、道を一方通行にすること、電柱を地中に埋設することなど安全に通行ができるような対策を行ってほしい。
- ② 駅周辺に活気がないので、若者が立ち寄りたくなるようなお店を誘致し、駅周辺をにぎやかにしてほしい。

こども食堂 10月22日(火) 市総合社会教育センター

非営利法人onigiriと弥富市福祉課が共催し、169名が参加しました。子ども達はイキイキと、料理づくりに参加したり、他の子どもと遊んだりして楽しそうでした。

onigiriの行うこども食堂は、貧困対策として行われる提供型ではなく、子どもと大人も一緒になって参加し、みんなで一緒に作り上げる、そんな参加型のこども食堂です。

当日は、お祭りのような賑わいで、楽しく過ごしました。次回の開催は以下のとおりです。

ぜひ参加してみてください。

日時：2月23日(日) 10時30分

場所：市総合社会教育センター

